

成田山節分会

## 一年の福を祈願して

成田山新勝寺で2月3日、恒例行事の「節分会」が行われました。雪の降りしきる空模様にもかかわらず大本堂前に集まった善男善女たちのお目当ては、大相撲力士やNHK大河ドラマ『篤姫』の出演者などによってまかれる福豆。「福は内!」の掛け声とともに投げられた豆が次々と宙を舞う中、見事「今年の福」を手にした参拝客からは笑顔がこぼれていました。



歓声に応え、福豆を投げる大相撲力士



多くの参拝客でにぎわう境内



元気に豆をまく子どもたち

赤荻保育園豆まき会

## 今年のお福と健康を願って

2月3日の節分を前に1日、赤荻保育園で「豆まき会」が行われました。最初に先生から節分のお話を聞いたり、節分の歌を歌った子どもたちは、早速園庭に出て「フクは一内、オニは一外」と豆まきに挑戦。子どもたちの元気な掛け声にさすがの鬼も最後には園の外に逃げていきました。

美郷台小学校校歌校章制定式

## 夢は必ずかなう♪

昨年の4月に開校した美郷台小学校で2月6日、「校歌校章制定式」が行われました。新しい校歌は、同校の教育目標「夢をかなえる土台づくり」をテーマに、絵本作家として活躍するこんのひとみさんが作詞を、音楽プロデューサーの吉川正夫さんが作曲を担当。「夢は必ずかなう♪」と締めくくる希望あふれる曲となりました。校章には、応募作品の中から同校児童保護者の桑原朋子さんのデザインが選ばれました。幸福の四つ葉をモチーフとしたもので「みんなが手をつなぎ、思いやる気持ちを持ってほしい」という願いが込められています。式典の最後には、全校児童を代表して6年生の平野愛さんと5年生の大野直さんが「みんなの温かい気持ちが伝わる校歌と校章。大切にしていきます」「校歌・校章に込められた願いを実現します」とそれぞれお礼の言葉と誓いの言葉を披露しました。



校章デザインへの想いを話す桑原さん



元気良く校歌を歌う子どもたち

## 地域防災へ新たな決意

「消防出初め式」が2月10日、国際文化会館駐車場を会場に行われました。式典では部隊観閲や分列行進のほか、消防の「今と昔」をテーマに腕用ポンプによる昭和初期の火消し姿が再現されました。「自治体消防制度60周年」を迎えた今年、地域防災を担う消防団員のますますの活躍が期待されます。



「今と昔」をテーマとした  
消防隊による演技



小泉市長と談笑する荒谷タツさん

### おめでとう数え100歳

## 明治42年生まれの10人にお祝いが

数えて100歳を迎えたお年寄りに2月8日・12日に市からお祝いが届けられました。橋賀台の荒谷さんは、お祝いに訪れた小泉市長と歓談。身振り手振りを交えながら、普段の生活や故郷の思い出話を花を咲かせていました。今年市内で対象となったのは明治42年生まれの次の10人です。いつまでもお元気で。

小山 シマさん (玉 造)	岩戸 福子さん (南平台)
岩澤 もとさん (西和泉)	荒谷 タツさん (橋賀台)
吉田安三郎さん (橋賀台)	岩澤 利子さん (取 香)
匝瑳 とりさん (囀護台)	出山 ことさん (宗 吾)
武田 初子さん (押 畑)	濱田 孝さん (吾 妻)



受賞作品となった平成19年11月1日号

### 県広報コンクール

## 「広報なりた」が1位に

毎月2回(1日と15日)定期発行している「広報なりた」が、県広報コンクールで1位になりました。紙面に登場していただいた人たちをはじめ、市民の皆さんのご協力に感謝します。今後も、皆さんに愛され、役立つ広報紙づくりを心掛けていきますのでよろしくお願いいたします。